

痙縮治療セミナー

脳卒中後や脳性麻痺による痙縮は、患者の機能を制限し、日常生活動作や生活の質の妨げになることがあります。また、痙縮の治療は、内服・ボツリヌス療法・ブロック注射・髄注療法・整形外科的手術療法など多岐にわたるため、どのような治療を組み合わせるかという治療法の選択や痙縮の治療でどこまで改善を図るかといった目標の設定が重要であり、多職種による検討が必要となります。本セミナーは、ボツリヌス療法の基礎と痙縮に対するリハビリテーション治療についてご講演いただきます。

日時

2022年 7月 21日(木) 18:30 - 20:00

開催形態

Zoomウェビナー

※こちらのURLもしくはQRコードよりお申し込みください

<https://onl.la/ctnDwy5>



参加費

無料

※日本作業療法士協会 生涯教育制度基礎研修ポイント 1ポイント付与

座長

津田 英一 先生

弘前大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座 教授

講演Ⅰ

「ボツリヌス治療の基礎」

鈴木 千恵子 先生

弘前大学大学院医学研究科 脳神経内科学講座 准教授

講演Ⅱ

「脳卒中後の上肢痙縮に対する
リハビリテーション戦略」

大瀧 亮二 先生

済生会山形済生病院 リハビリテーション部 主任
東北大学大学院 医学系研究科 肢体不自由学分野
認定作業療法士・専門作業療法士(脳血管障害)